

ROUGH-5 & ROUGH リテーラー アセンブリ マニュアル

cervélo

velo

ラフ5&ラフパーツリスト

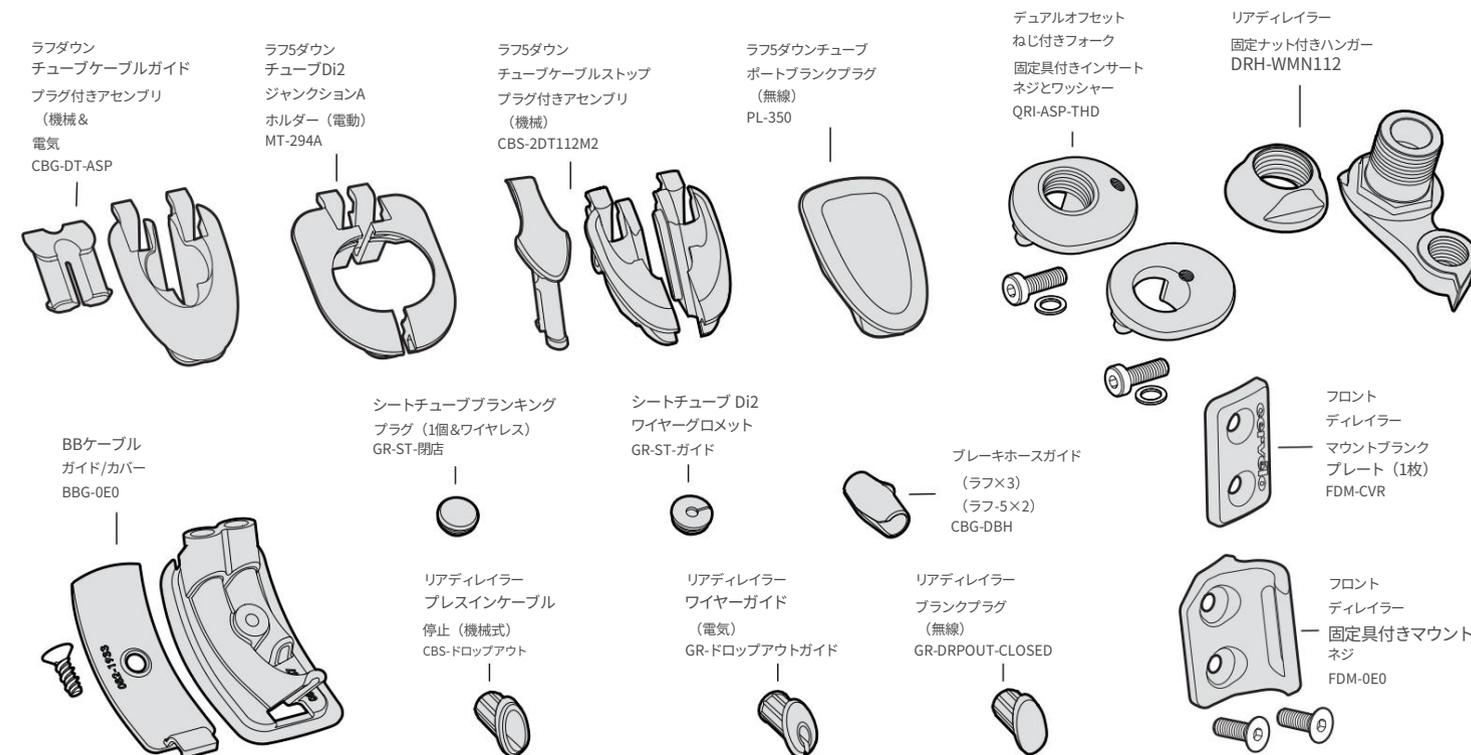
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
BBケーブルガイド/カバー BBG-0E0	
ディスクブレーキホースガイド CBG-DBH	
フロントブレーキマウントプレート (後方オフセット)	BRP-160-ASP
ダウンチューブケーブルガイド ブラグ付きアセンブリ	CBG-DT-ASP
ダウンチューブケーブルストップ / ブラグ付きホースガイド	CBS-2DT112M2
ダウンチューブケーブルポート ブラグブラグ	PL-350
ダウンチューブ Di2 ジャンクションAマウント	MT-294A
リアディレイラーケーブル 停止機械	CBS-ドロップアウト
リアディレイラー ブラグブラグワイヤレス	GR-DRPOU T-CLOSED
電動リアディレイラー ワイヤーガイド	GR-ドロップアウトガイド

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
リアディレイラーハンガー (取り 付けナット付き)	DRH-WMN112
フロントディレイラーマウント 固定ネジ付き	FDM-0E0
フロントディレイラーマウント ブラッキングプレート	FDM-CVR
フロントディレイラー ブラグブラグワイヤレス	GR-ST-閉店
ラフ5ヘッドセット	BC-413
Áspero-5ヘッドセット スプリット 指輪	SR-312
ST32 ステムスペーサーキット	SK-023
D字型ボンドフォーク インサートキット	FKI-359
D字型圧縮 ブラグ	FKI-CL005-517A
ボトルボスカバープレート CVR-WB	

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
デュアルオフセットねじ 固定具付きフォークインサート ネジ	QRI-ASP-THD
アクセサリマウントキット (フロント)	MT-LM-F-004
アクセサリマウントキット (後方)	MT-LM-R-003
インデックス付きフロント スルーアクスル	QRA-LVR-F
インデックス付きリア スルーアクスル	QRA-LVR-R
サーヴェロ フロントエアロ スルーアクスル	QRA-AERO-F
サーヴェロ リアエアロ スルーアクスル	QRA-AERO-R
ダウンチューブプロテクター PRO-DT-ASP	
チェーンステアガード	プロ-CS-ASP
スマートバック 400A	SB-SB05-TT

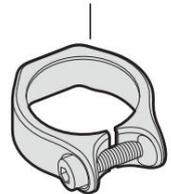
小さな部品

Áspero -5とÁsperoフレームは、電子制御、機械式、油圧式の制御に対応するよう設計されており、変速方式やブランドを問わず、あらゆる変速システムをシームレスに統合できます。そのためには、以下に示すパーツが必要になる場合があります。

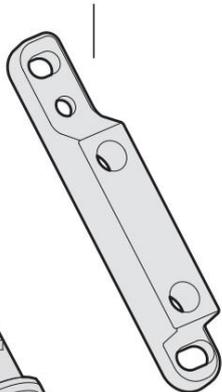


小さな部品

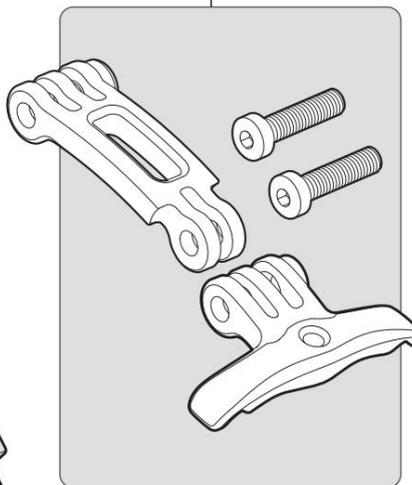
粗い
シートポストクランプ
SPC-SQ-R-2011-A



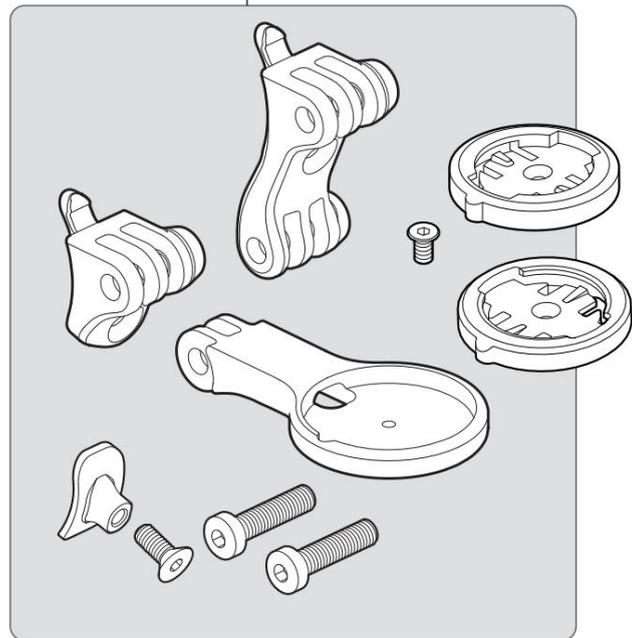
フロントブレーキ
取り付けプレート
(後方
オフセット)
BRP-160-ASP



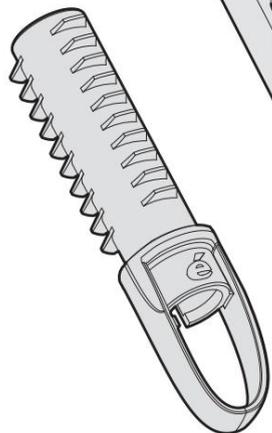
アクセサリマウント
キット (リア)
MT-LM-R-003



アクセサリマウント
キット (フロント)
MT-LM-F-004



シートポスト
バッテリーマウント
MT-BINT-SP2

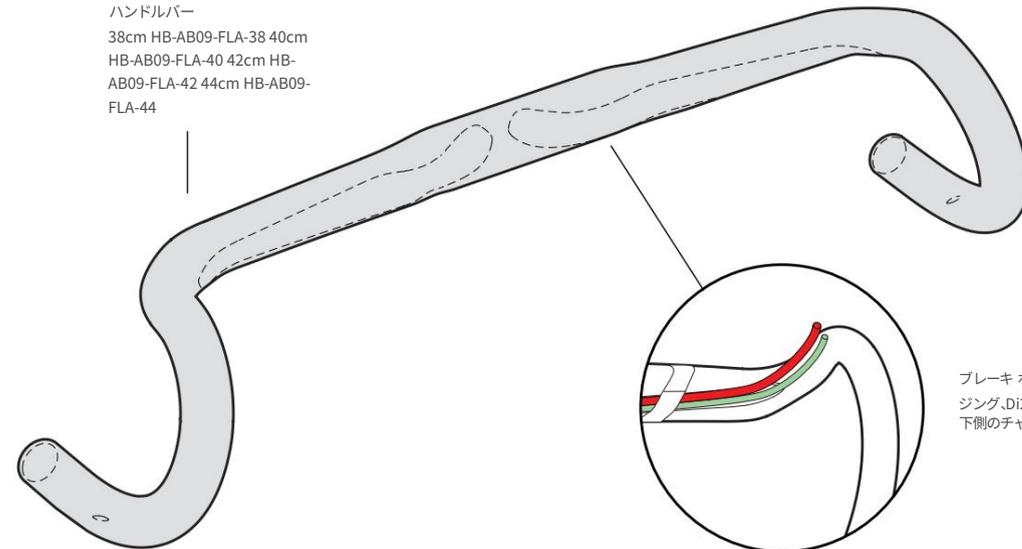
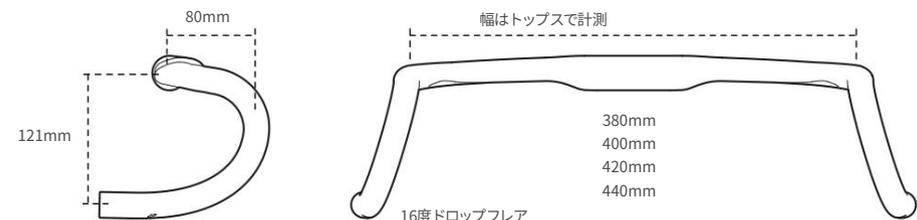


取り付け手順については、10 ページと 28 ページを参照してください。

AB09F ハンドルバー

WARNING
ハンドルバーとステムの組み立てには、本書で指定された部品のみを使用してください。指定された部品を使用せず、付属の組み立て手順に従わないと、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。

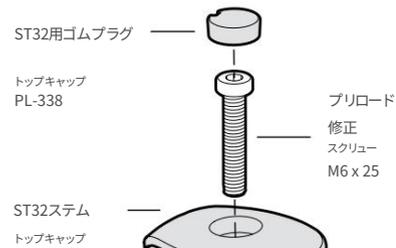
サーヴェロ AB09F
ハンドルバー
38cm HB-AB09-FLA-38 40cm HB-
AB09-FLA-40 42cm HB-
AB09-FLA-42 44cm HB-AB09-
FLA-44



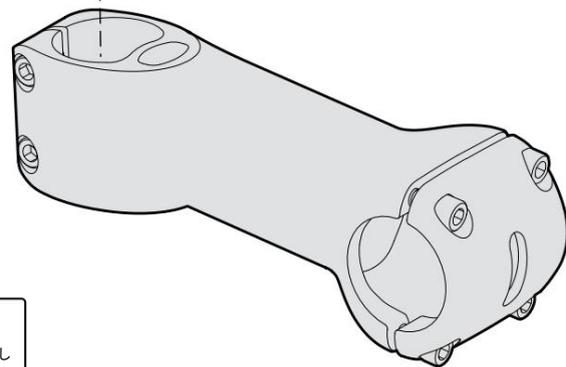
ブレーキ ホース、ケーブル ハウ
ジング、Di2 E-Wire は、ハンドルバーの
下側のチャネル内を通ります。

ラフ5 ST32 ステム

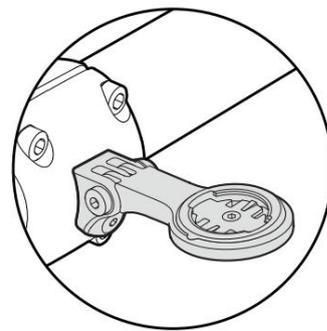
サーヴェロ ST32 ステム
(アルミニウム)
70mm ST-A032-70
80mm ST-A032-80 90mm
ST-A032-90 100mm ST-
A032-100 110mm ST-
A032-110 120mm ST-
A032-120 130mm ST-
A032-130



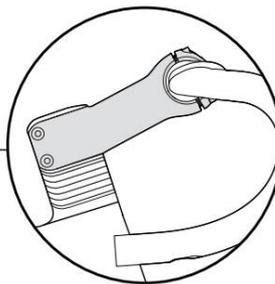
フォークを締める
ステアラー固定ネジを
5Nmにします。



ステムフェースプレ
ートの固定ネジを6Nmに
締めます。



ST32互換
アクセサリマウントキット (フロント)
(MT-LM-F-004)。組み立て手順については
10ページをご覧ください。



ST32 ステムは反転してスタ
ックを追加できます。

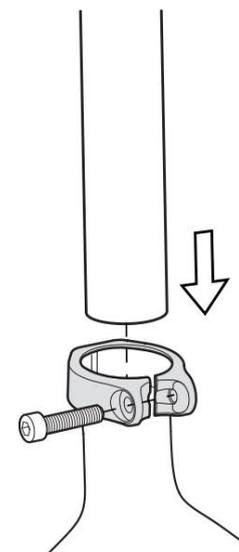
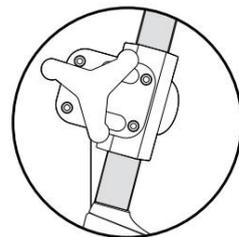
WARNING

ハンドルバーとステムの組み立てには、本書で指定された部品のみを使用してください。指定された部品を使用せず、付属の組み立て手順に従わないと、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。

フレームとコンポーネントの準備

WARNING

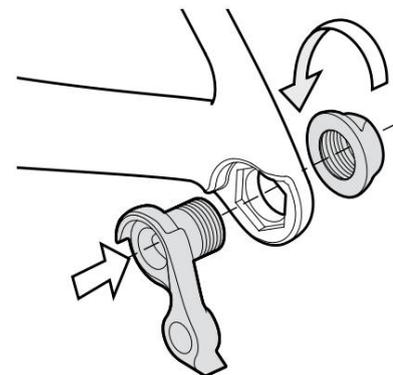
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



1. フレームとフレームに挿入するシートポストにカーボンペーストを塗布します。
2. シートポストをフレームに挿入します。
3. シートポストクランプ (SPC-SQ-R-2011-A)の高さを調整し、最大6Nmにトルク調整します。

WARNING

トリミングが必要な場合、最終的な長さは、シートポストがフレーム内に70mm以上残るように、またはシートポストに記載されている最小挿入寸法のいずれか大きい方を考慮してください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

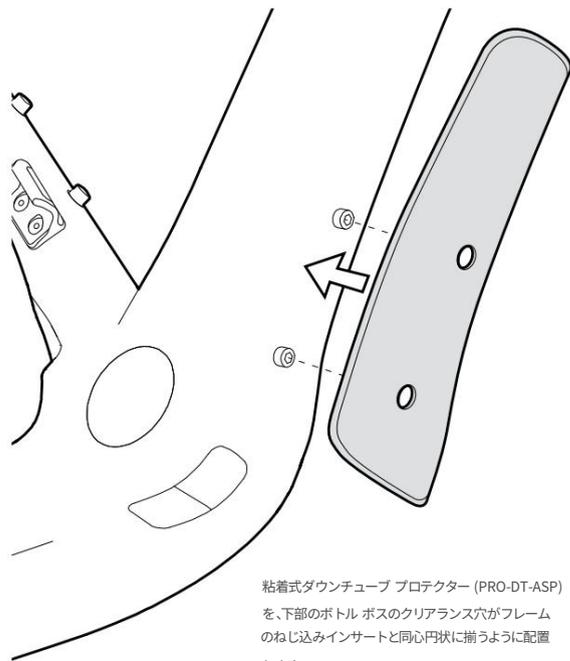


リアディレイラーハンガー固定ナットに軽くグリスを塗り、リアディレイラーハンガー (DRH-WMN112)を指で締め付けます。最終締め付けはリアホイールの取り付け後に行います (32ページ参照)。

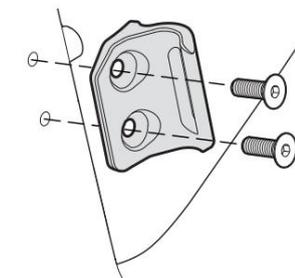
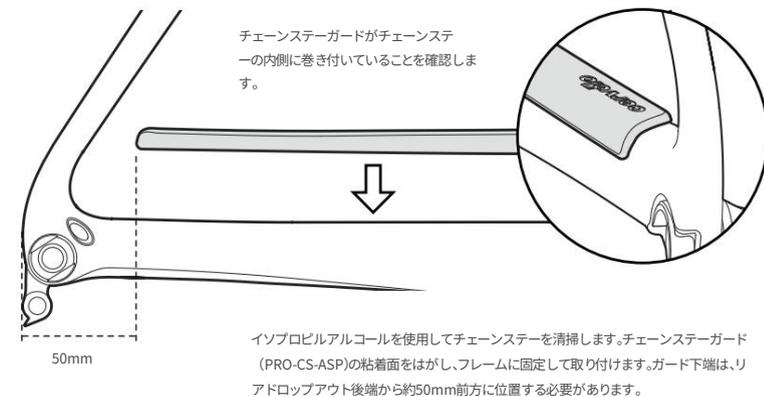
WARNING

後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハンガーアセンブリを本締めしないでください。そうしないと、ディレイラーの位置がずれ、変速が悪くなります。

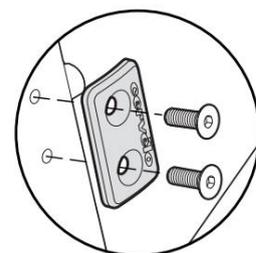
フレームとコンポーネントの準備



9

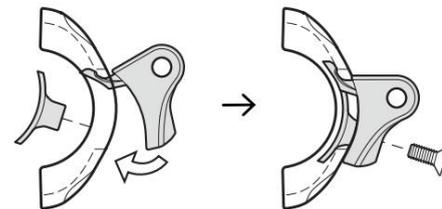


フロントディレイラーマウント (FDM-0E0)を2本の固定ネジでフレームに固定します。3Nmで締め付けます。

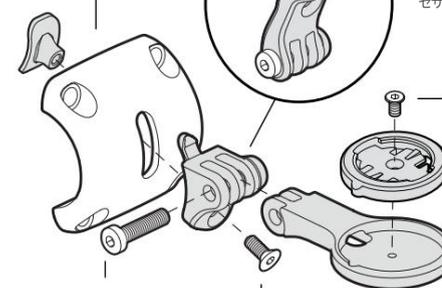


1x チェーンリング セットアップの場合は、プランキングプレート (FDM-CVR)を使用します。

アクセサリ マウント (フロント) を取り付けするには、ST32 システム フェースプレートに角度を付けてマウントし、2Nm にトルクをかけます。



アクセサリマウント
キット (フロント)
MT-LM-F-004



デュアルフェースプレート
マウントにより、コンピューター、カメラ、その他のアクセサリを使用できます。

1Nmのトルク
で締めます。

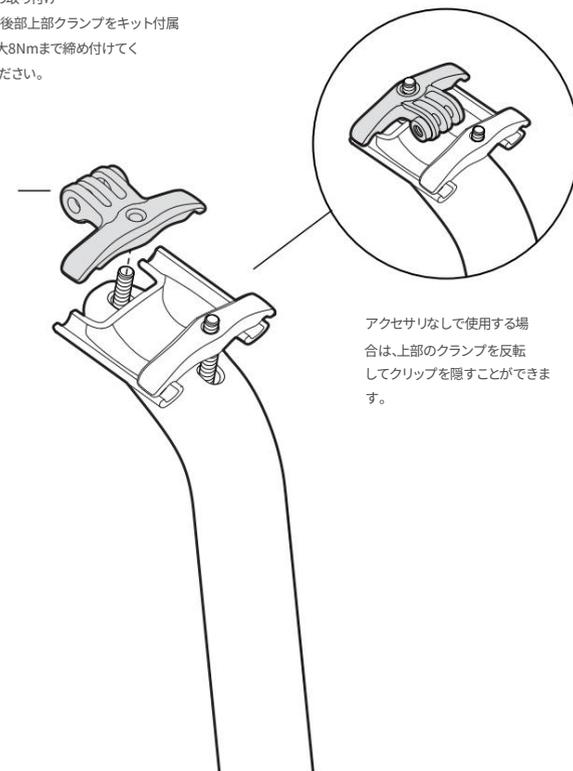
アクセサリ マウント (フロント) には、Garmin および Wahoo コンピューター用のインサートが含まれています。

2.5Nmのトルクで締めます。

トルクは2Nm。

アクセサリマウント (リア) の取り付け (MT-LM-R-003)、シートポスト後部上部クランプをキット付属のものに交換してください。最大8Nmまで締め付けてください。28ページも参照してください。

アクセサリマウント
キット (リア) アッパー
クランプ

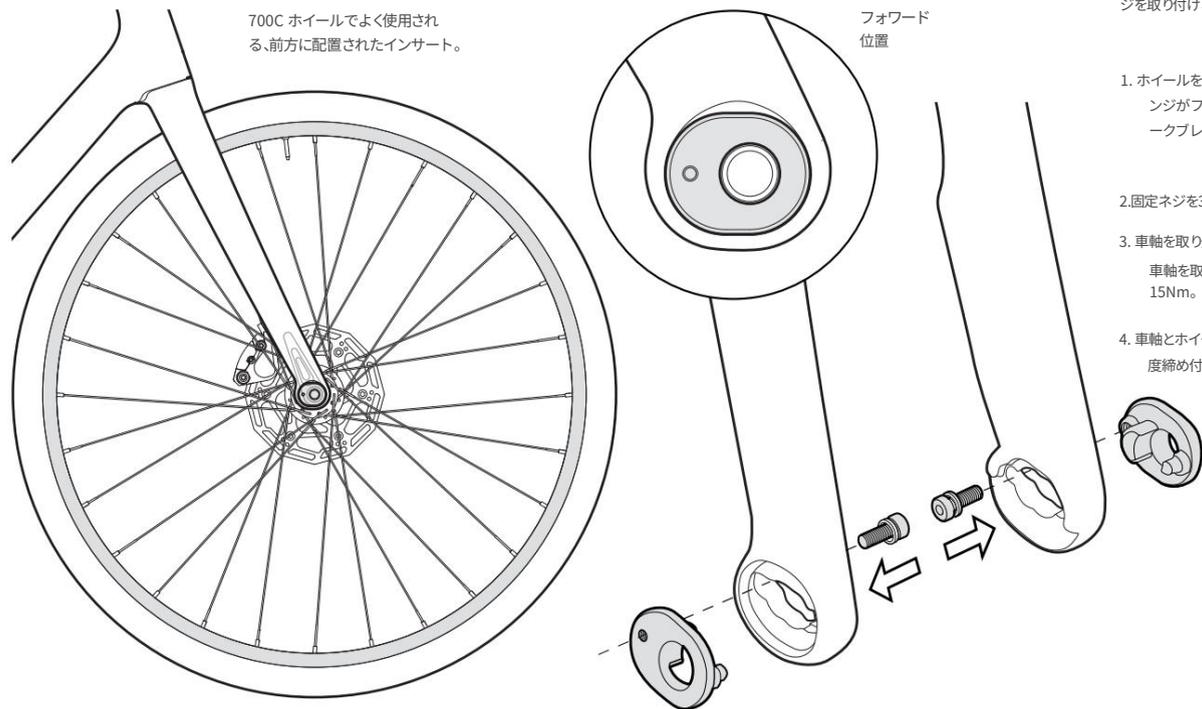


アクセサリなしで使用する場合は、上部のクランプを反転してクリップを隠すことができます。

10

デュアルオフセットフォークインサートの取り付け

Ásperoフォークインサートは、バイクのハンドリングジオメトリを調整するために、前方または後方のどちらの位置にも取り付けることができます。両方のインサートが正しく同じ位置に取り付けられていることを確認してください。

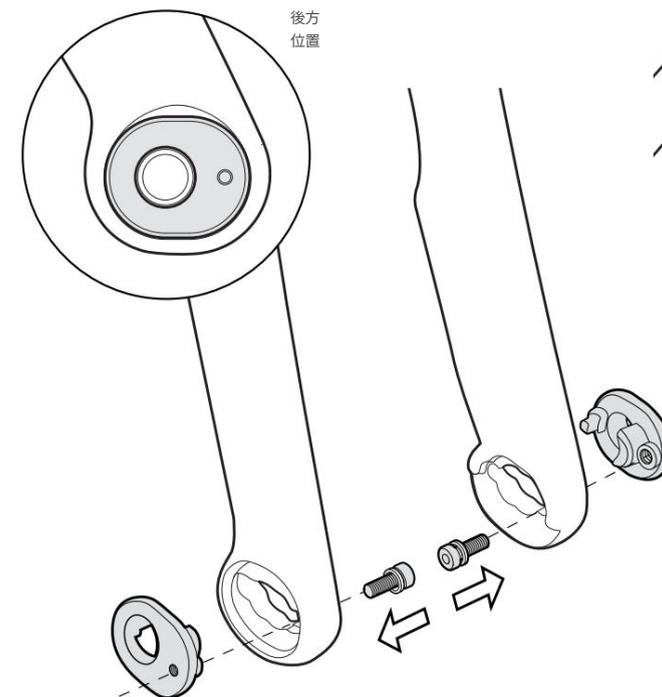


付属のM4固定ネジに軽くグリスを塗布します。オフセットフォークインサート (QRI-ASP-THD)と固定ネジを取り付け、軽く締め付けます。

1. ホイールを取り付けない状態で、車軸を取り付け、フランジがフォークのドロップアウト面に接触し、フォークブレードを圧縮しない程度まで締めます。
2. 固定ネジを3Nmに締めます。
3. 車軸を取り外し、ホイールを取り付けます。車軸を取り付けて12まで締めます。15Nm。
4. 車軸とホイールを取り外し、固定ネジを 3Nm に再度締め付けます。

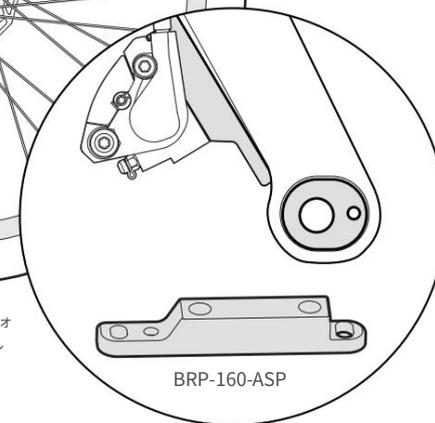
⚠ WARNING

フォーク インサートを後方位置で使用する場合は、Cervélo フロントブレーキ取り付けプレート (後方オフセット) (BRP-160-ASP) を取り付ける必要があります。



650B ホイールでよく使用される後方に配置されたインサート。

インサートを後方位置に取り付ける場合は、標準のフォークブレーキプレートを付属のフロントブレーキプレートに交換してください。
ブレーキ取り付けプレート (後方) オフセット (BRP-160-ASP)



ÁSPERO-5 フォークの準備と取り付け（接着インサート）

1. ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。

2. フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスパーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。

3. 必要最低限の圧力をかけるアセンブリが完全に固定されていることを確認してください。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。

4. フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラータチューブの明確な印を付けます。この印がステアラータチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。

5. フォークステアラータをトリミングするには、カーボンの切断に適したのこぎりと切断ガイドのみを使用してください。

⚠ WARNING

炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

6. ステアラータチューブの切断端の内側を慎重に研磨して斜面を作り、接着フォークインサートをはめ込みます。

7. ボンデッドフォークインサートを仮組みして、インサートの端にのみ触れるように注意しながら、ステアラータチューブの端にぴったりとフィットします。

8. ステアラータチューブが短すぎてインサートの上部フランジが接触しない場合

フォークの上部から、取り外す前に露出部分の長さを測ります。アルミ切断に適した新しい鋸刃を使用して、ボンデッドフォークインサートの下部から同じ長さを切り取り、ヤスリで鋭利なエッジを取り除きます。接着する前に、インサートを再度試し打ちして、正確にフィットすることを確認してください。

⚠ CAUTION

インサートを切断する必要がある場合、32mm以上削らないでください。フォークステアラータに完全に収まらない場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせください。

9. イソプロピルアルコールを使用して内部を清掃します。ステアラータチューブとボンデッドの外側フォークインサート。

10. 2液エポキシを完全に混ぜて塗布します。木製のスキミングスティックでフォークインサートの外側の表面をこすります。

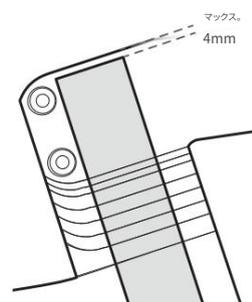
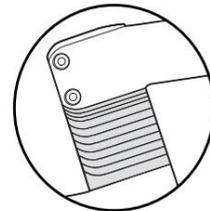
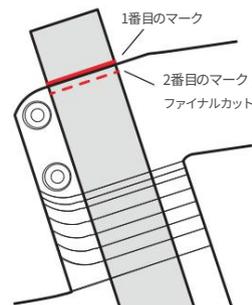
11. 広がった端がステアラータの上部と面になるまで、ボンデッドフォークインサートをステアラータにゆっくりと差し込みます。

12. イソプロピルアルコールワイブを使用して、ステアラータチューブの外側の表面から余分な接着剤を拭き取ります。

13. フォークを脇に置いて硬化期間中はそのままにしておきます。

⚠ WARNING

ステアラータチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。

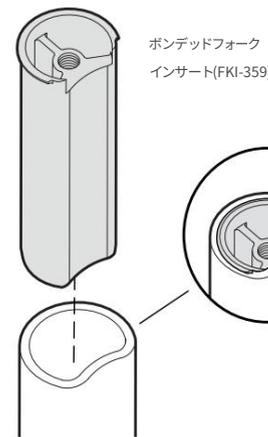


⚠ WARNING

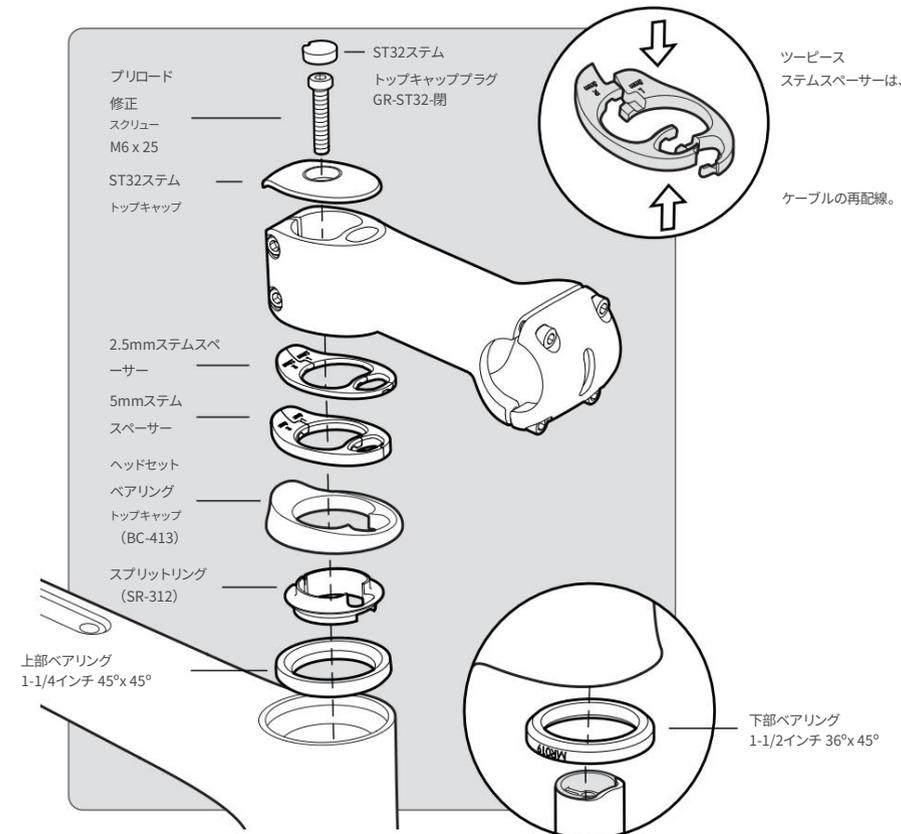
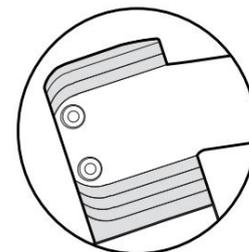
超過しないでください。ベアリングトップキャップを含めたスパーサーの合計高さは最大 50 mm です。

⚠ WARNING

Cervéloのフレームとフォークは互いに連携して動作するように設計されています。異なるサイズのフォークに交換する場合は、Cervéloカスタマーサービスにお問い合わせいただき、フレームとの互換性をご確認ください。



初期セットアップ後に位置が下がった場合は、ST32 ステム トップ キャップの下のステムの上部にスパーサーを取り付けます。

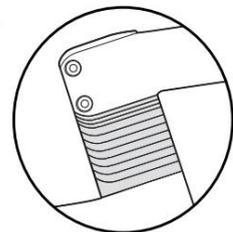
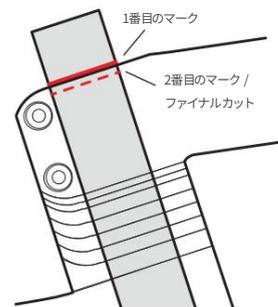


ÁSPERO-5 および ÁSPERO フォークの準備と取り付け（圧縮プラグ）

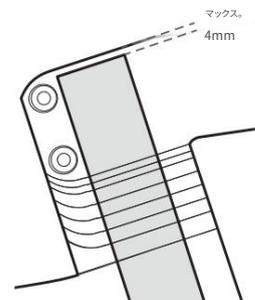
- ベアリングポケットにグリスを塗り、上部および下部のヘッドセットベアリングをフレームに取り付けます。

ラフ5

- フレームに付属のフォークを完全なヘッドセット、必要なスペーサー、ステムを備えたヘッドチューブ。
- アセンブリが完全に固定されていることを確認するために必要な最小限の圧力を加えます。ステムの上部にあるステアチューブに印を付けます。
- フォークを取り外し、最初の印から4mm下の位置にフォークステアラーチューブの明確な印を付けます。この印がステアラーチューブのカットラインとなるため、この測定値が正しいことを確認してください。
- フォークステアラーをトリミングするには、カーボンの切断に適したのこぎりや切断ガイドのみを使用してください。
- 適切な圧縮プラグを挿入し、トルクを調整します。8Nmまで。



WARNING
ベアリングトップキャップを含めたスペーサーの合計高さが最大 50 mm を超えないようにしてください。

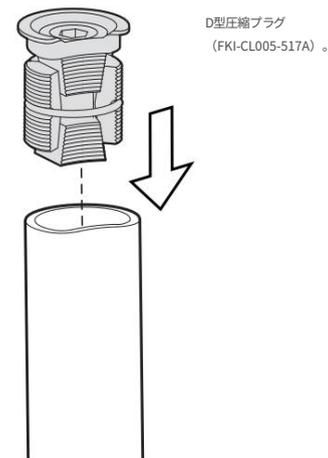


WARNING

炭素複合材料の切断時に発生する粉塵を吸い込まないようにしてください。

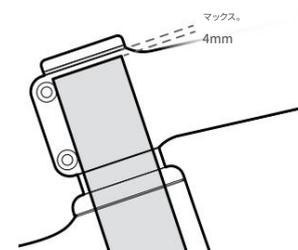
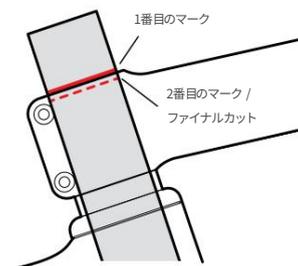
WARNING

ステアラーチューブを不適切に切断すると、重大な傷害または死亡につながる可能性のある故障が発生する可能性があります。



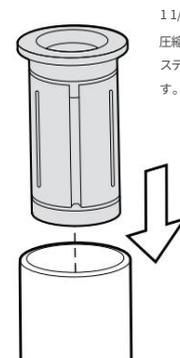
D字型コンプレッションプラグをフォークステアラーに取り付けます。トルクは8Nmです。

粗い

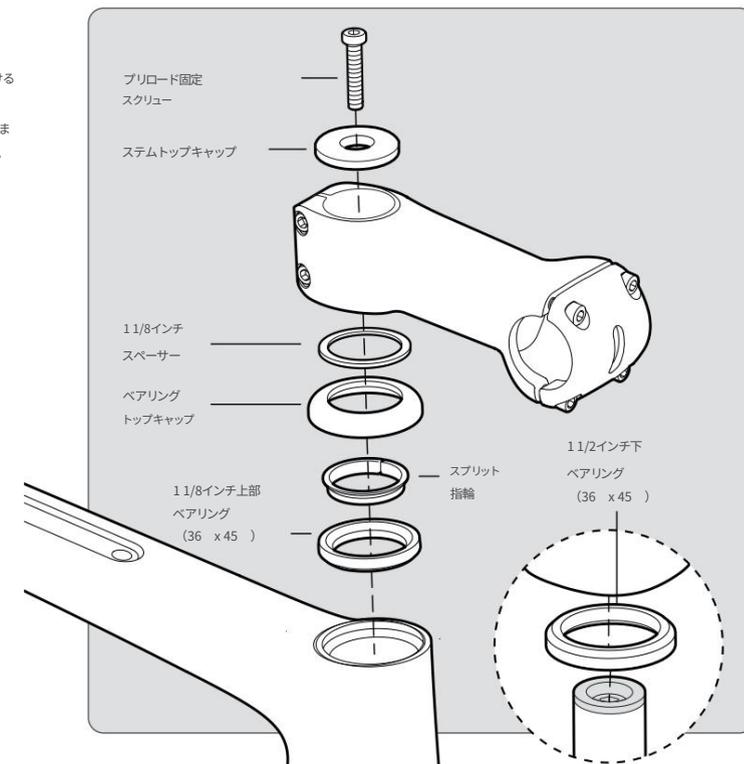
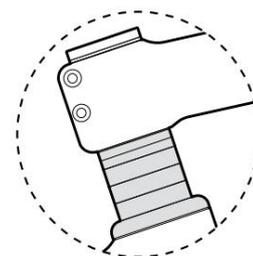


WARNING

ベアリングトップキャップを含めたスペーサーの合計高さが最大 50 mm を超えないようにしてください。



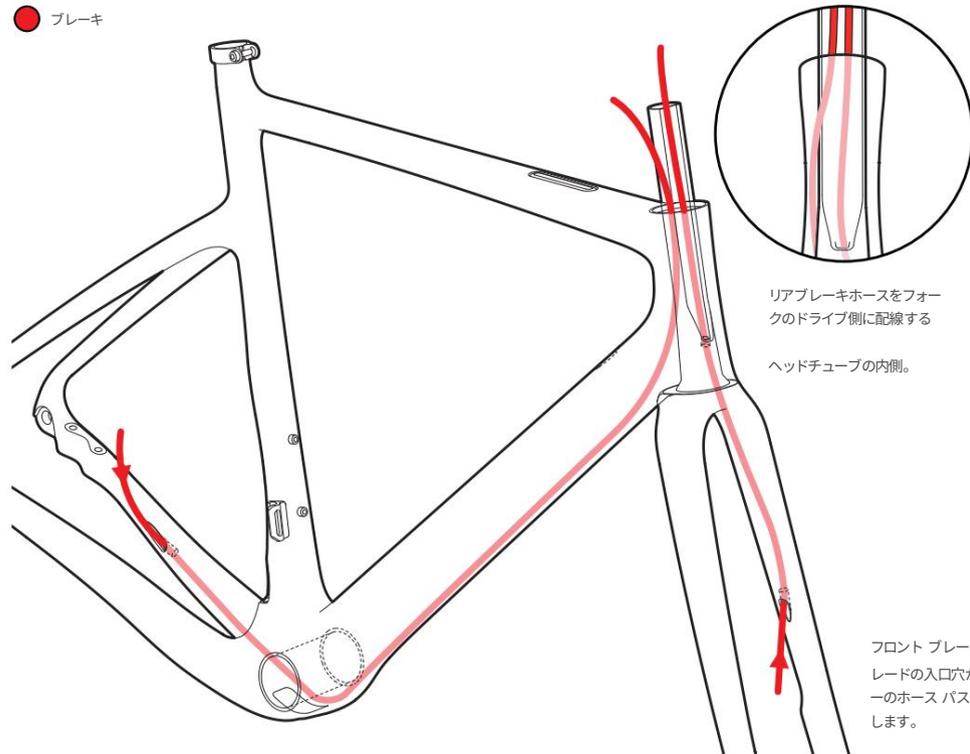
1 1/8インチを取り付ける圧縮プラグをフォークステアラーに差し込みます。トルクは8Nmです。



ブレーキホースの配線

ラフ5

● ブレーキ



リアブレーキホースをフォークのドライブ側に配線する
ヘッドチューブの内側。

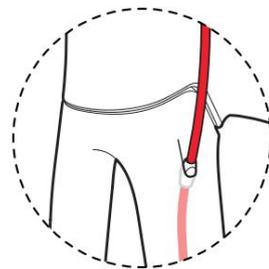
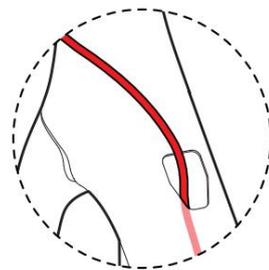
リアブレーキホースをチェーンステアーから始めて、ダウンチューブの内部ケーブルポートを通して配線します。

フロントブレーキホースをフォークブレードの入口穴からホース出口まで配線します。

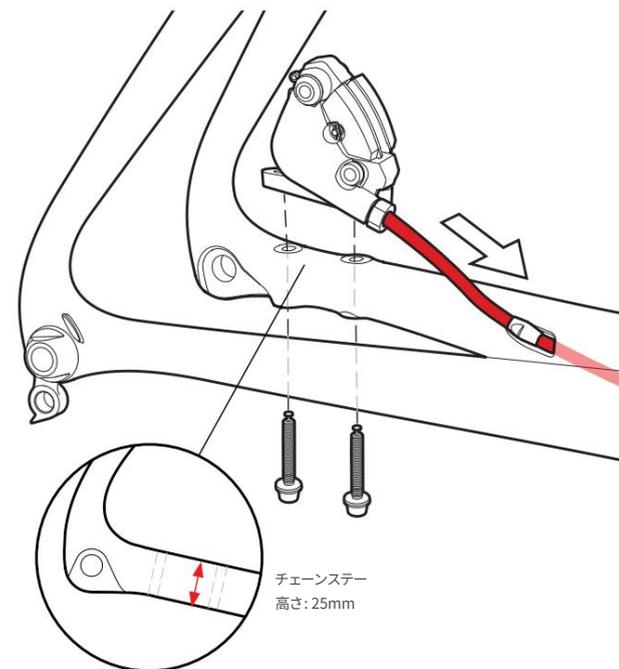
上部フォークブレードの外側にある貫通穴

フロントブレーキホースをフォークブレードの入口穴から配線し、フォークステアラーのホースバスルー穴から出るようにします。

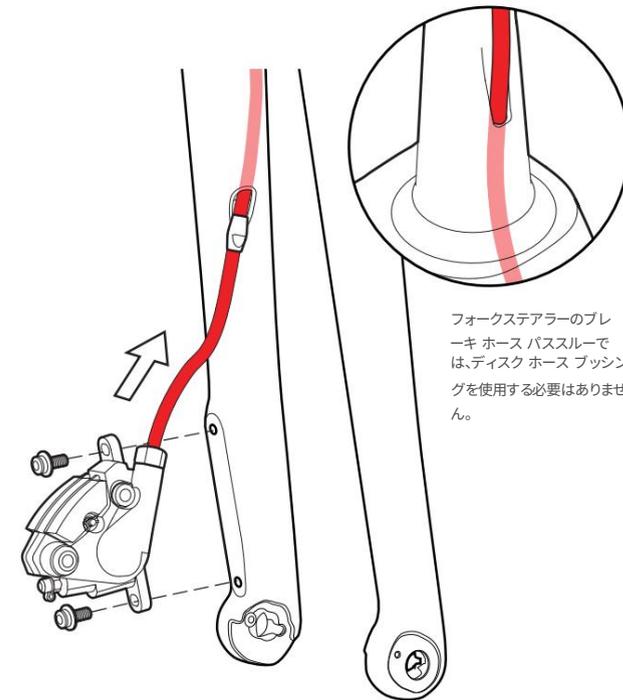
粗い



ディスクホースブッシング (CBG-DBH)を使用して、油圧ブレーキホースをフレームとフォークに通します。メーカーの指示に従ってキャリパーを取り付け、調整します。



チェーンステアー
高さ: 25mm



フォークステアラーのブレーキホースバスルーでは、ディスクホースブッシングを使用する必要はありません。

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

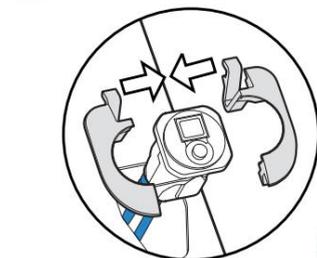
ASPERO-5 電線配線と設置

これらの配線図は、製造元のインストール手順を補足することのみを目的としています。

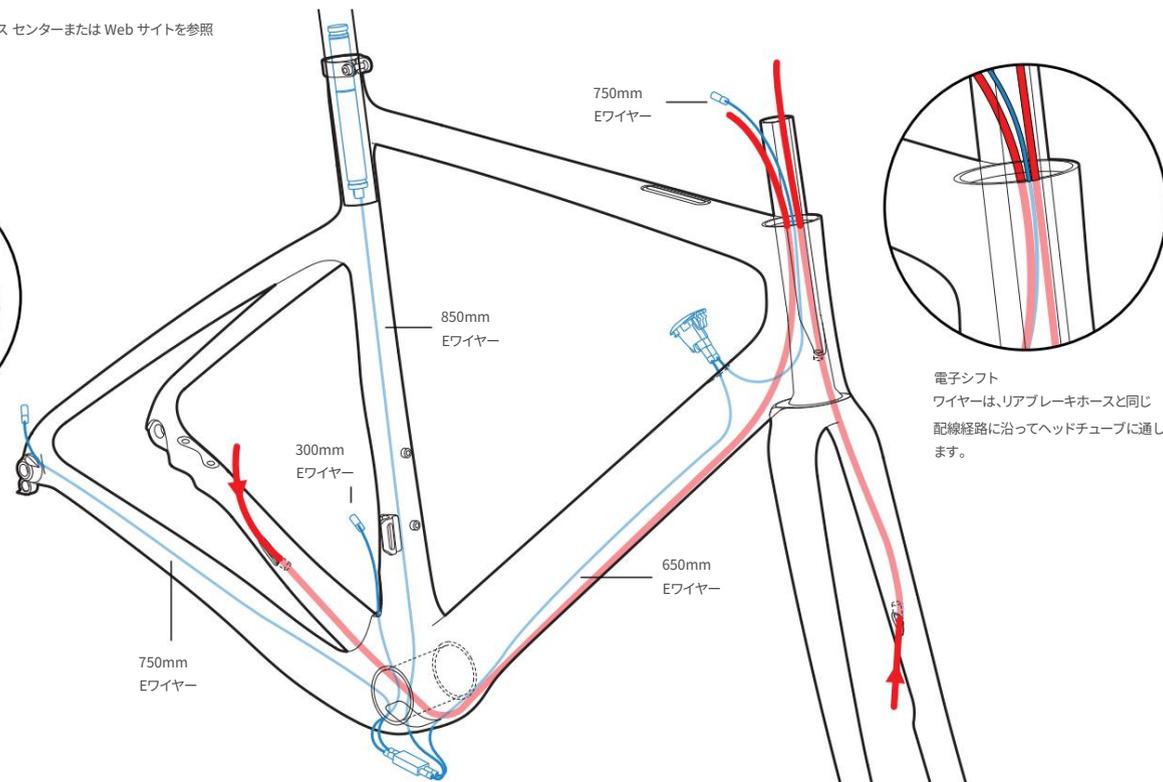
詳細については、コンポーネント製造元のサービスセンターまたは Web サイトを参照してください。

● ブレーキ

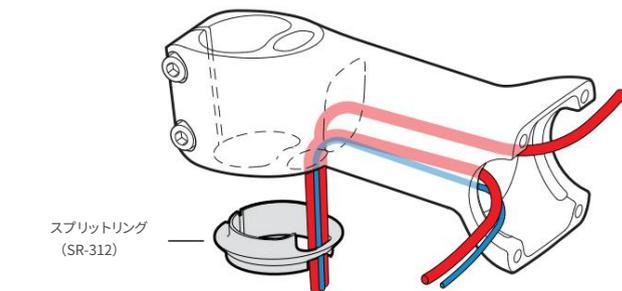
● Eワイヤー



Di2ジャンクションをインストールする
ダウンチューブDi2のA
ジャンクションAホルダー
(MT-294A)。

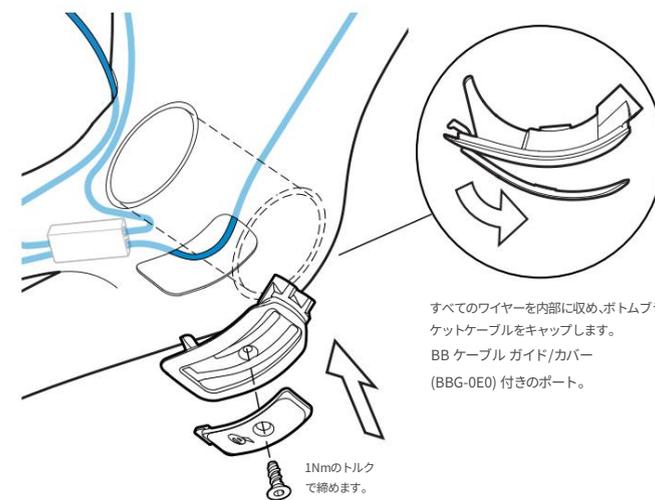


電子シフト
ワイヤーは、リアブレーキホースと同じ
配線経路に沿ってヘッドチューブに通し
ます。



スプリットリング
(SR-312)

Eワイヤーがスプリットリングの開
口部を通過するとき、2つの
ブレーキホースの間の前方に配置さ
れていることを確認します。



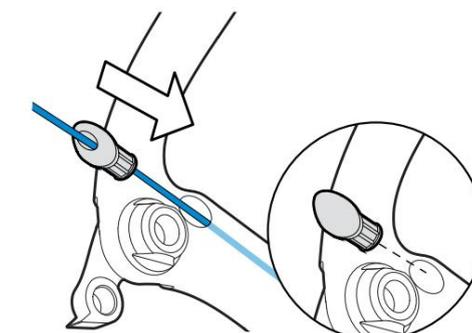
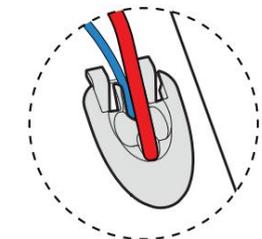
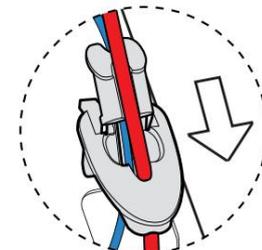
すべてのワイヤーを内部に収め、ボトムブラ
ケットケーブルをキャップします。
BB ケーブルガイド/カバー
(BBG-0E0) 付きのポート。

1Nmのトルク
で締めます。

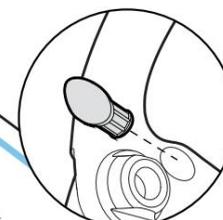
粗い

Aspero Downを使用してダウ
ンチューブに制御ワイヤーを通します

チューブケーブルガイド
プラグ付きアセンブリ
(CBG-DT-ASP)



リアディレイラーワイヤ
ーガイド (GR-DRPOUT-GUIDE)
を取り付けます。

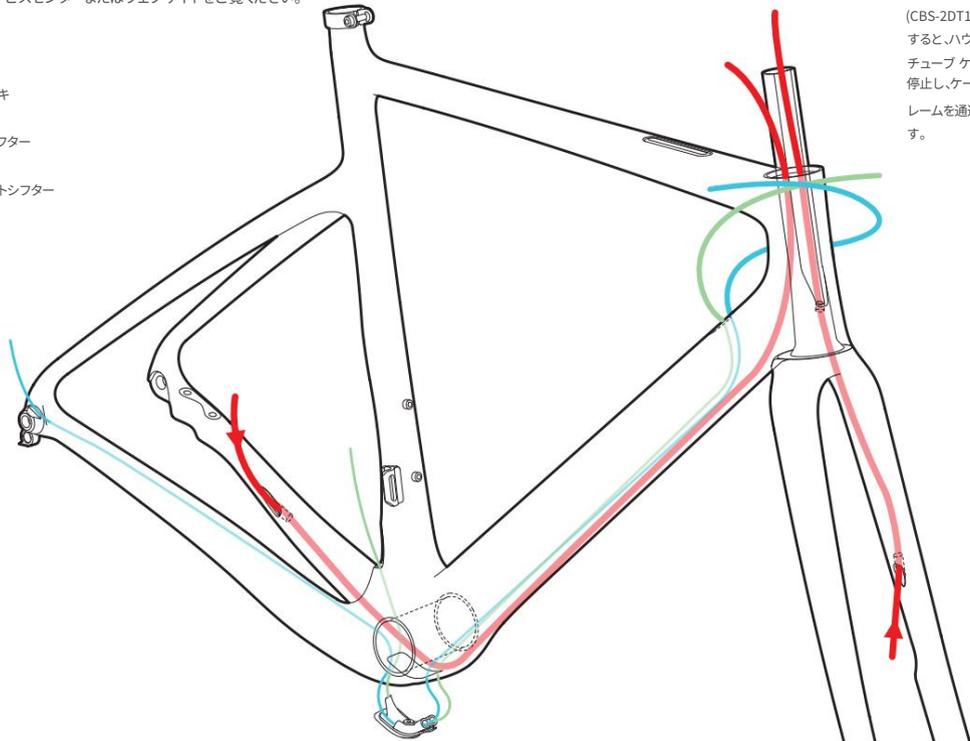


ワイヤレス シフト システムの場合は、リ
アディレイラー ブランキング プラグ (GR-
DRPOUT-CLOSED) を取り付けます。

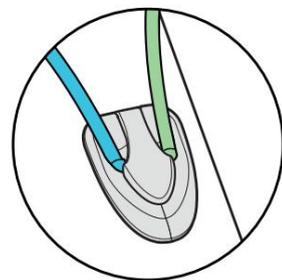
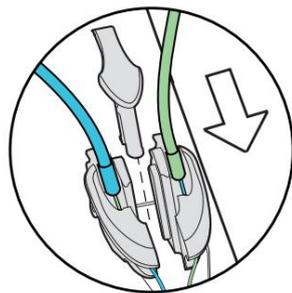
ÁSPERO-5 機械ケーブル配線と設置

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

- ブレーキ
- リアシフター
- フロントシフター

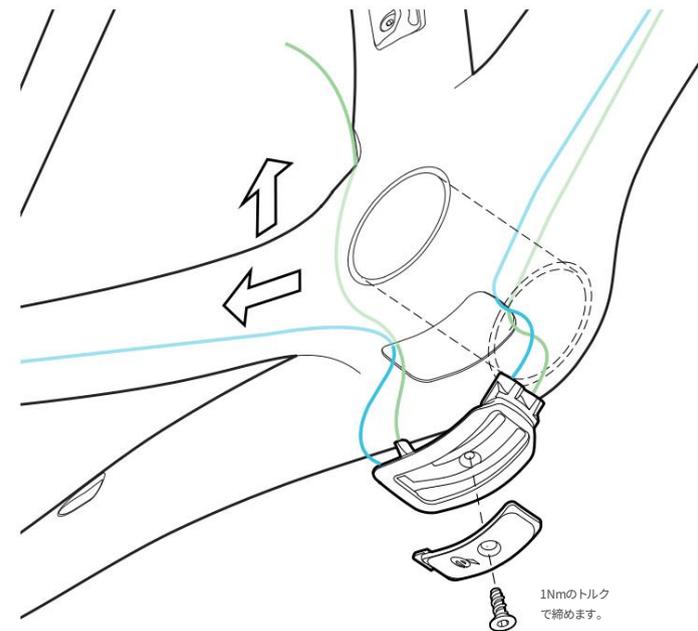


ダウンチューブケーブルストップアセンブリ (CBS-2DT112M2) を使用すると、ハウジングがダウンチューブケーブル入力ポートで停止し、ケーブルのみがフレームを通過できるようになります。



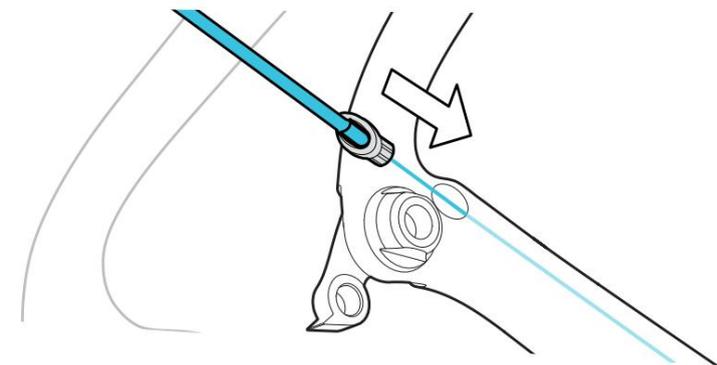
ダウンチューブケーブルストップアセンブリ (CBS-2DT112M2) ブレーキホースパススルーの空シール

プラグを使用します。

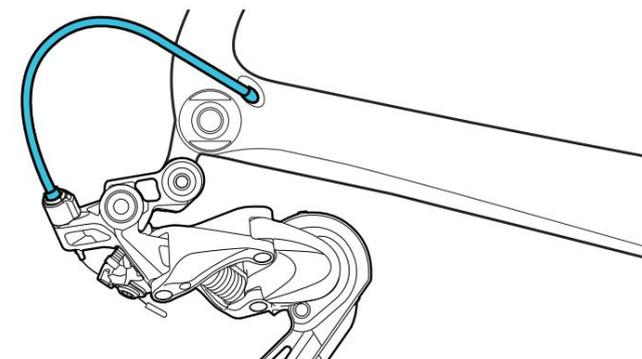


フロントケーブルは非ドライブサイドのスロットを横切り、シートチューブの方向に通します。リアケーブルはドライブサイドのスロットを通り、チェーンステーに沿って通します。完了したら、BBケーブルガイド/カバー (BBG-0E0) を所定の位置に固定します。

1Nmのトルクで締めます。



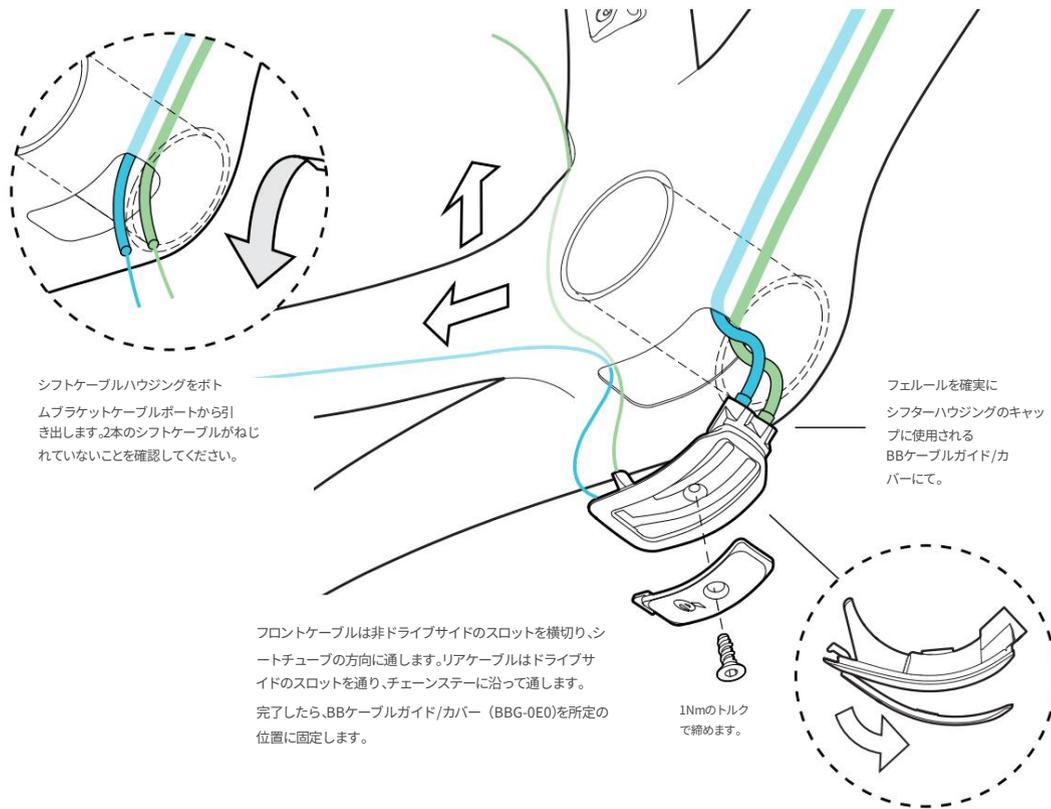
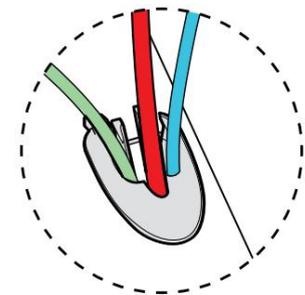
リアディレイラープレスインケーブルストップ (CBS-DRPOUT) を取り付けます。



製造元の指示に従って、リアディレイラーをリアディレイラーハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

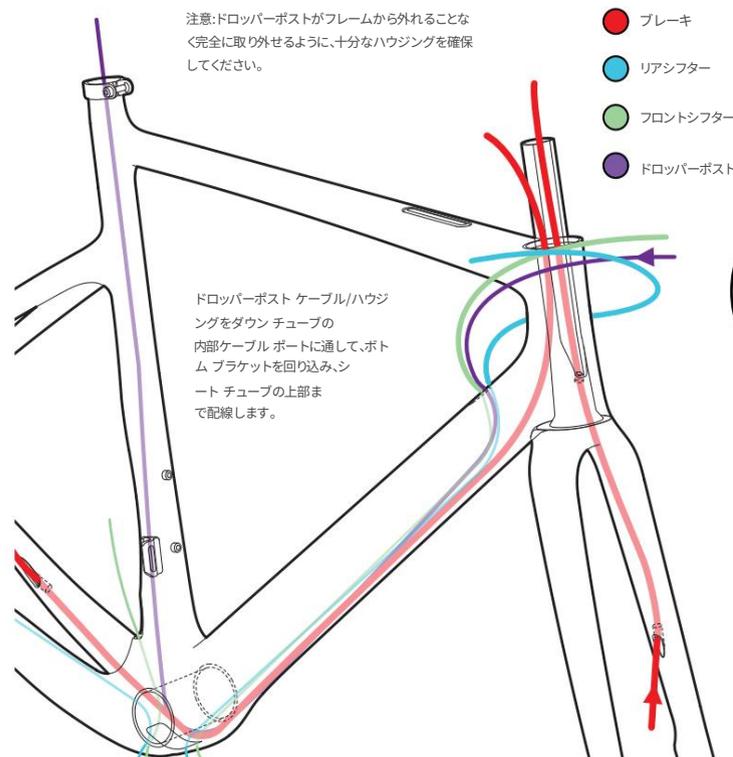
ÁSPERO 機械ケーブル配線と設置

Áspero を機械式シフトで組み立てる場合は、シフターケーブルハウジングとリアブレーキホースをダウンチューブケーブルストップアセンブリ(CBG-DT-ASP)に通します。



ドロPPERポストケーブルルーティング

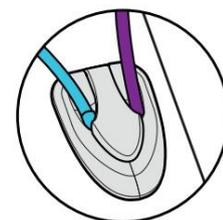
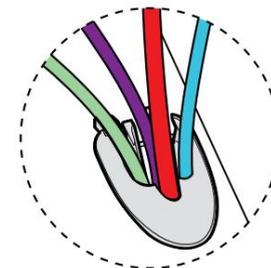
ラフ5



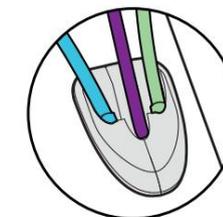
粗い

ドロPPERポストケーブルの配線/リアブレーキホースの下のハウジングからダウンまで

チューブケーブルストップアセンブリ(CBG-DT-ASP)



メカニカルダウン1個チューブのルーティング。



2x 機械式ダウンチューブルーティング。

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的のみ提供されています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

Rough-5 ハンドルバールーティング - 電動

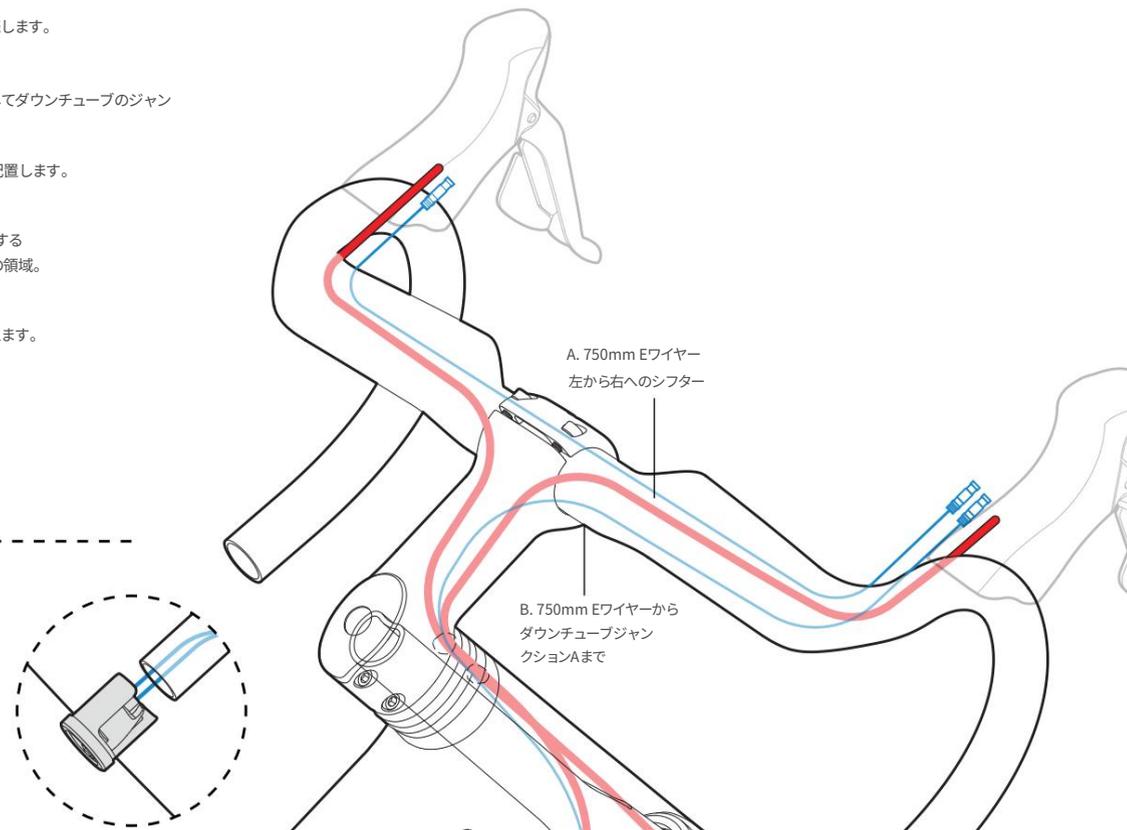
1. ハンドルバーにシフターを取り付け、左と右を接続します。
右は750mm E-Wire Aを使用しています。
2. 750mm E-Wire B を右シフターからシステムに通してダウンチューブのジャンクション A に接続します。
3. ブレーキハウジングとEワイヤーを適切な位置に配置します。
ハンドルバーのチャネル。
4. 接触部にカーボンアセンプリコンパウンドを塗布する
ハンドルバーとシステムのフェイスプレートの間の領域。
5. ハンドルバーをシステムに取り付け、ブレーキと
メーカーの指示に従ってコントロールを切り替えます。

- ブレーキ
- Eワイヤー

粗い

電動シフト付き Áspero では、次の E ワイヤ長さのパーマウント ジャンクション A を使用します。

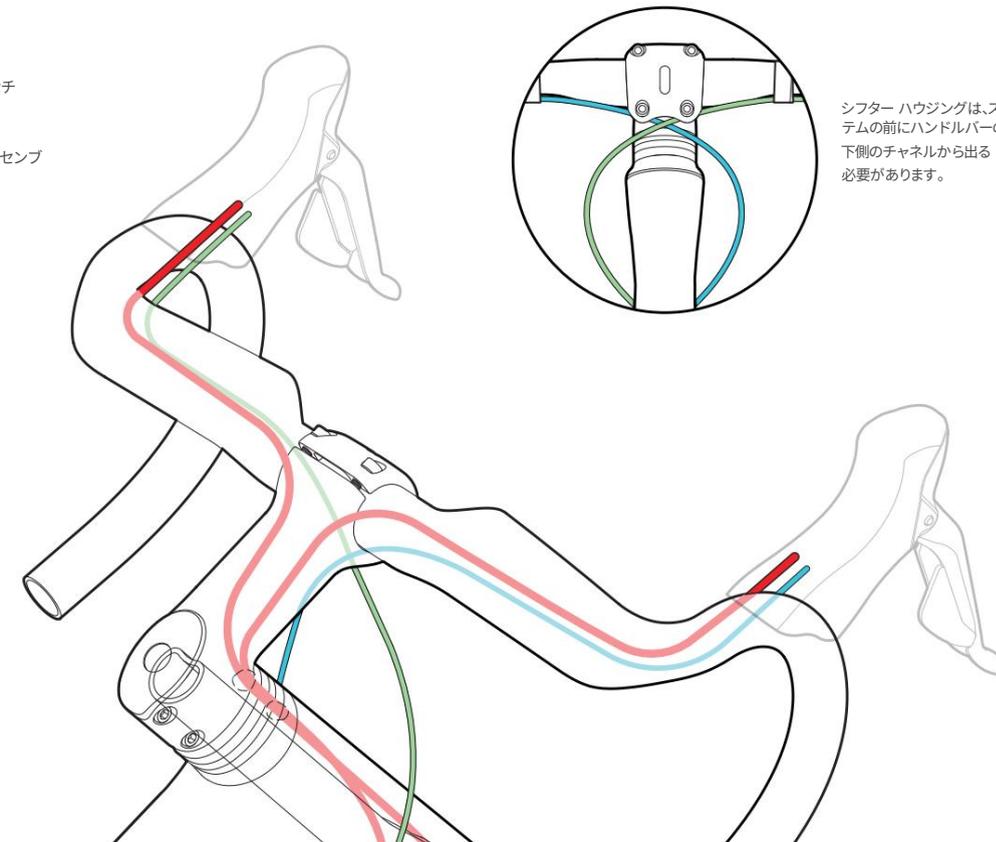
- シフター間 :750mm
- シフターからジャンクションAまで: 300mm
- ジャンクションAからジャンクションBまで
ダウンチューブ内部ケーブルポート:
- 1200mm 48-56cmフレーム
- 1400mm 58-61cmフレーム



ÁSPERO-5 ハンドルバー ケーブル ルーティング - 機械式

1. ハンドルバーにシフターを取り付けます。
2. ブレーキハウジングとシフターハウジングをハンドルバーの適切なチャネルに配置します。
3. ハンドルバーとシステムのフェイスプレートの接触部分にカーボンアセンプリコンパウンドを塗布します。
4. ハンドルバーをシステムに取り付け、製造元の指示に従ってブレーキとシフトコントロールを取り付けます。

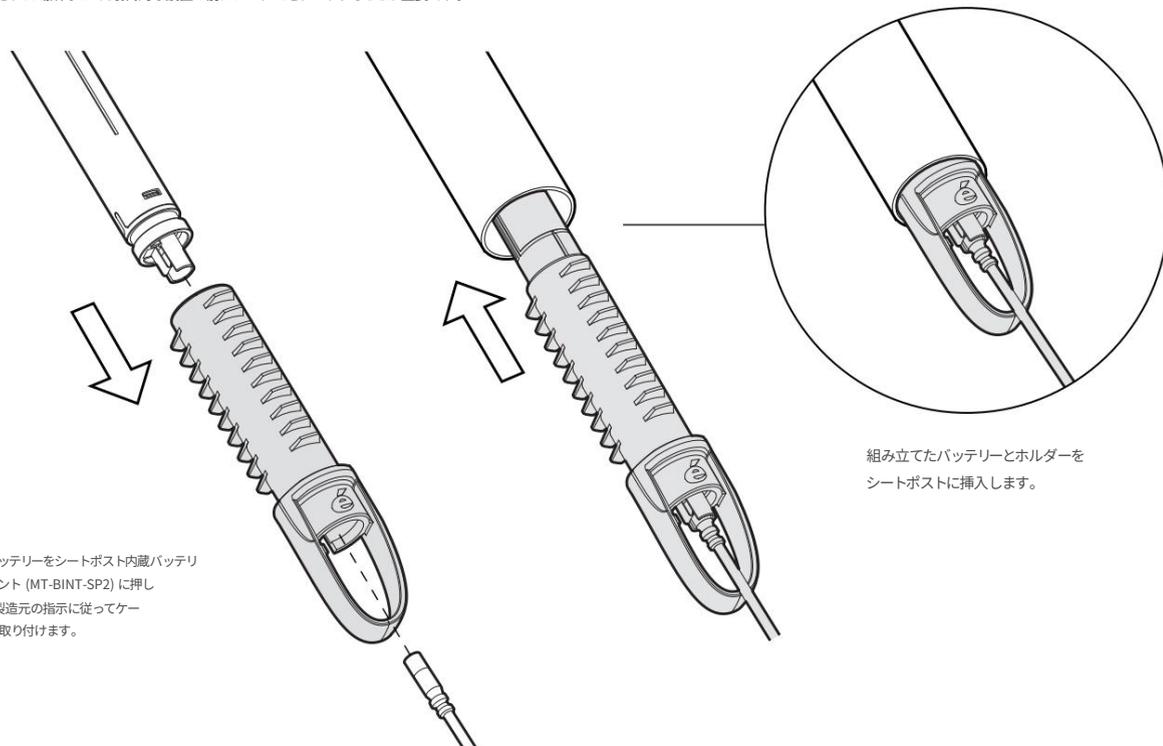
- ブレーキ
- リアシフター
- フロントシフター



DI2バッテリーの取り付け

Shimano Di2 システム用のバッテリーは、シートポスト内蔵バッテリーマウント (MT-BINT-SP2) を使用してシートチューブ内に取り付けられます。

これは密閉された場所なので、最終的な設置の前にシステムをテストすることが重要です。



組み立てたバッテリーとホルダーをシートポストに挿入します。

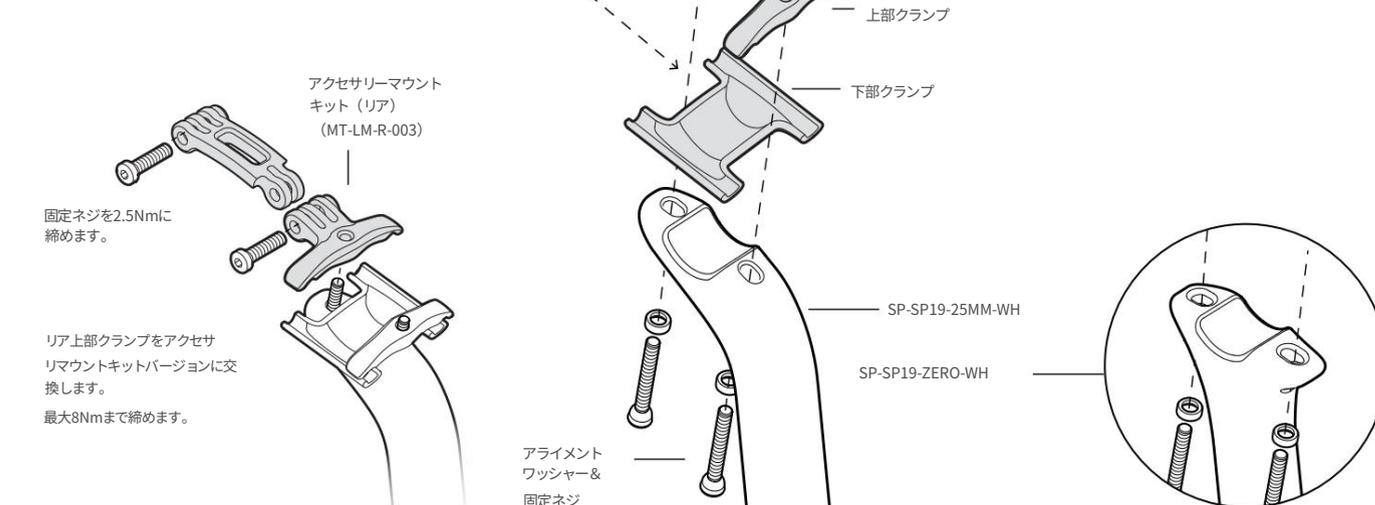
Di2 バッテリーをシートポスト内蔵バッテリーマウント (MT-BINT-SP2) に押し込み、製造元の指示に従ってケーブルを取り付けます。

シートポストの組み立てと取り付け

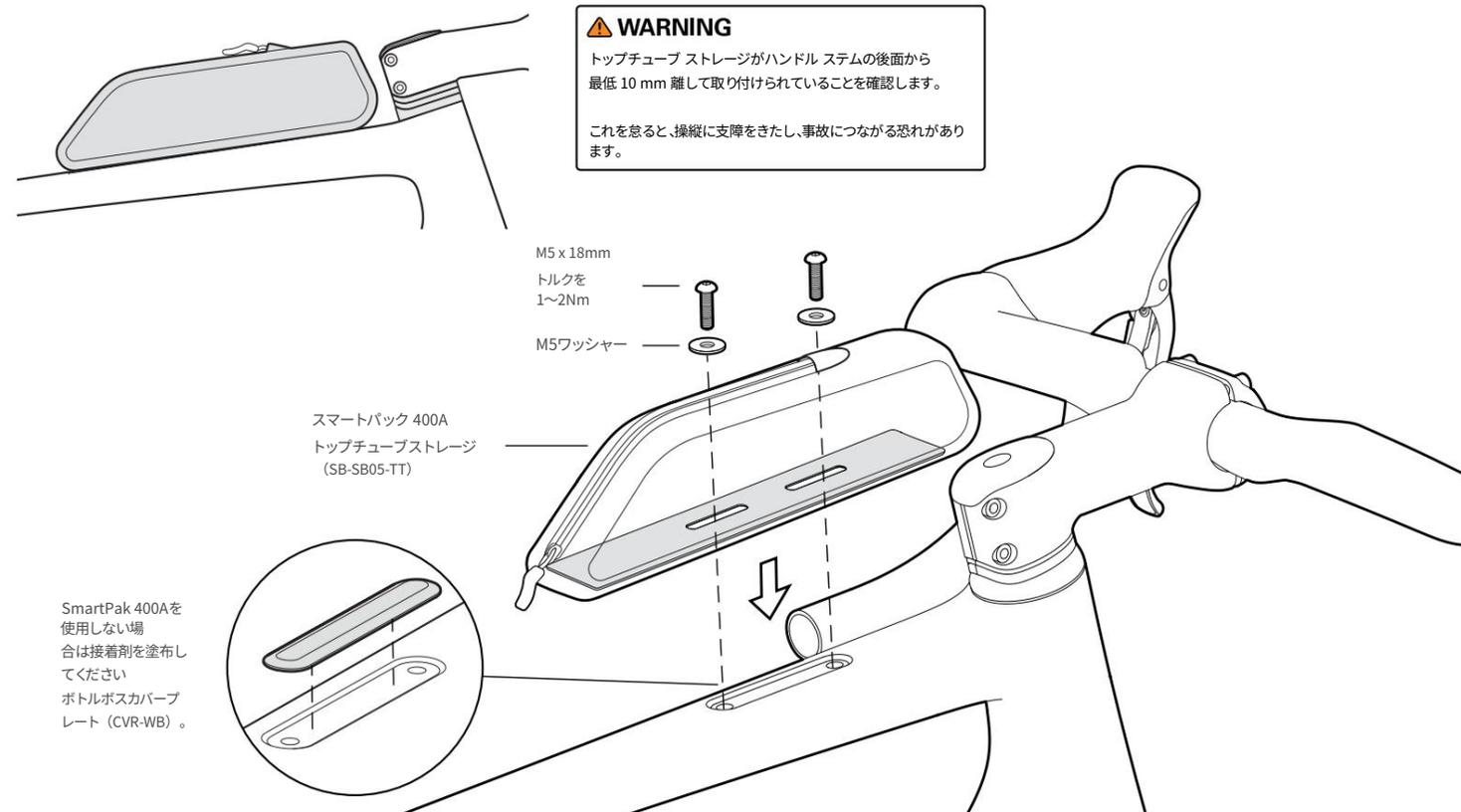
1. シートポストの上面にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布し、調整スロットの周囲を覆うようにします。

2. サドルレールを上部クランプと下部クランプの間に配置して、シートポストに取り付けます。

3. アライメントワッシャーを取り付けた状態で、軽くグリースを塗布した固定ネジを締め付け、シートポストにアセンブリを取り付けます。固定ネジは両側交互に1/2回転ずつ締め付けます。サドルの位置を調整したら、固定ネジを最大8Nmで締め付けます。

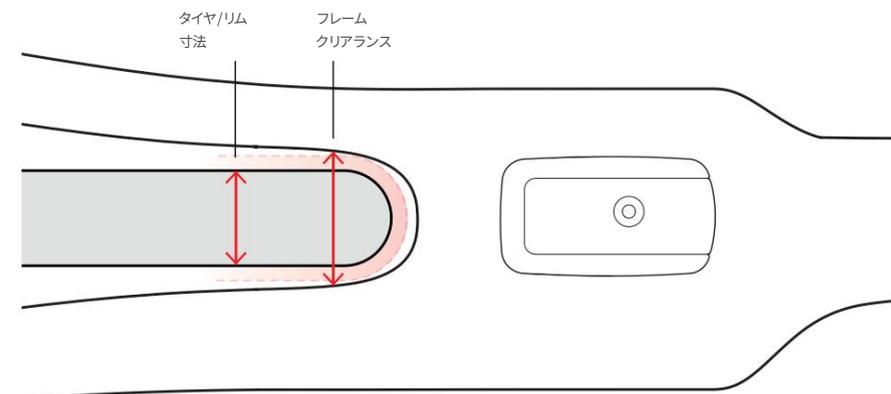


トップチューブスマートパックの取り付け



タイヤ/リムクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



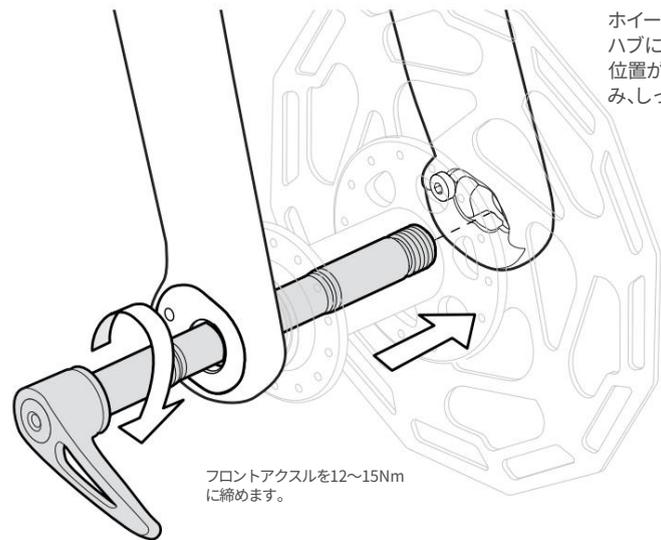
1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステー間のスペースを測定します。
3. その2つの数字のうち小さい方を使って、残りのスペースを決定するには、8mm (片側4mm) を差し引きます。
4. タイヤをホイールに取り付けて完全に空気を入れた状態で、リムまたはタイヤの最大幅を測定して、フィットすることを確認します。

⚠ WARNING

タイヤまたはリムとフレームまたはフォークが接触すると、走行中に制御を失い、重大な傷害を負う可能性があります。

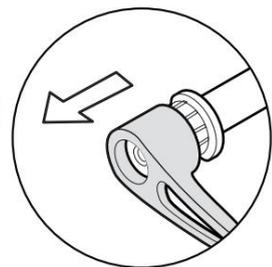
これらのガイドラインに従わなかった場合、Cervélo 限定生涯保証の対象外となるフレームの損傷が発生する可能性があります。

インデックススルーアクスルの取り付け

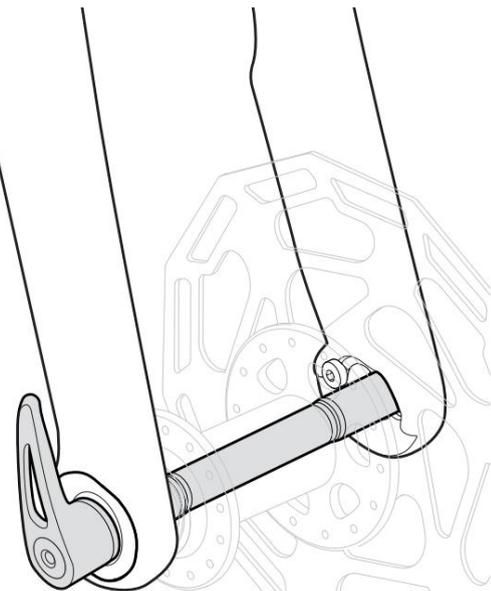


フロントアクスルを12~15Nmに締めます。

ホイールを固定するには、グリースを塗布した車軸をドロップアウトとホイールハブに通し、車軸のねじ山側をねじ込み式インサートのねじ山部分に合わせます。位置が合っただけで、車軸をインサートのねじ山部分に時計回りにねじ込み、しっかりと固定します。

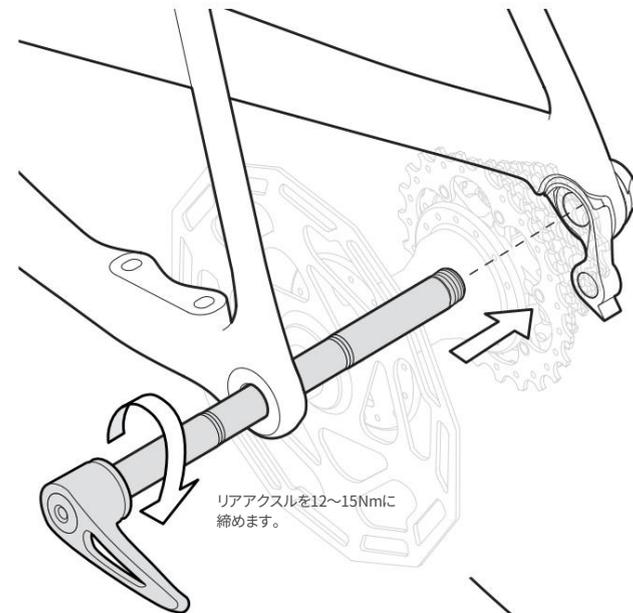


締め付けた後、レバーを外側に引いて、希望の位置に回します。

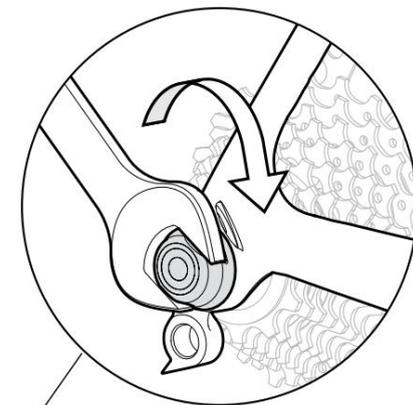


⚠ WARNING

ライダーの安全を確保するためには、Cervélo インデックススルーアクスルを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、事故につながり、ライダーが重傷を負う可能性があります。



リアアクスルを12~15Nmに締めます。

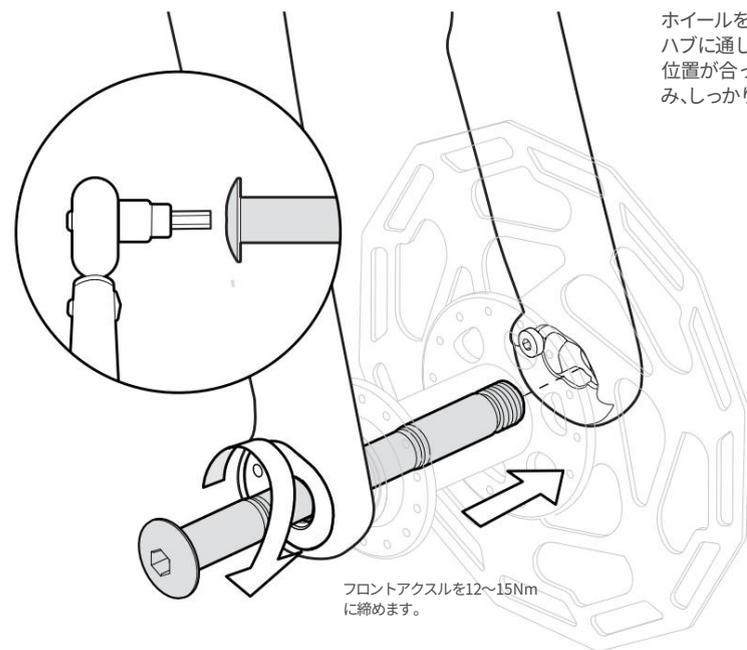


17mmレンチを使用して、リアディレイラーハンガーナットを最終締め付けします。トルクは12~15Nmです。この作業は初期組み立て時に行うため、追加の調整は必要ありません。

⚠ WARNING

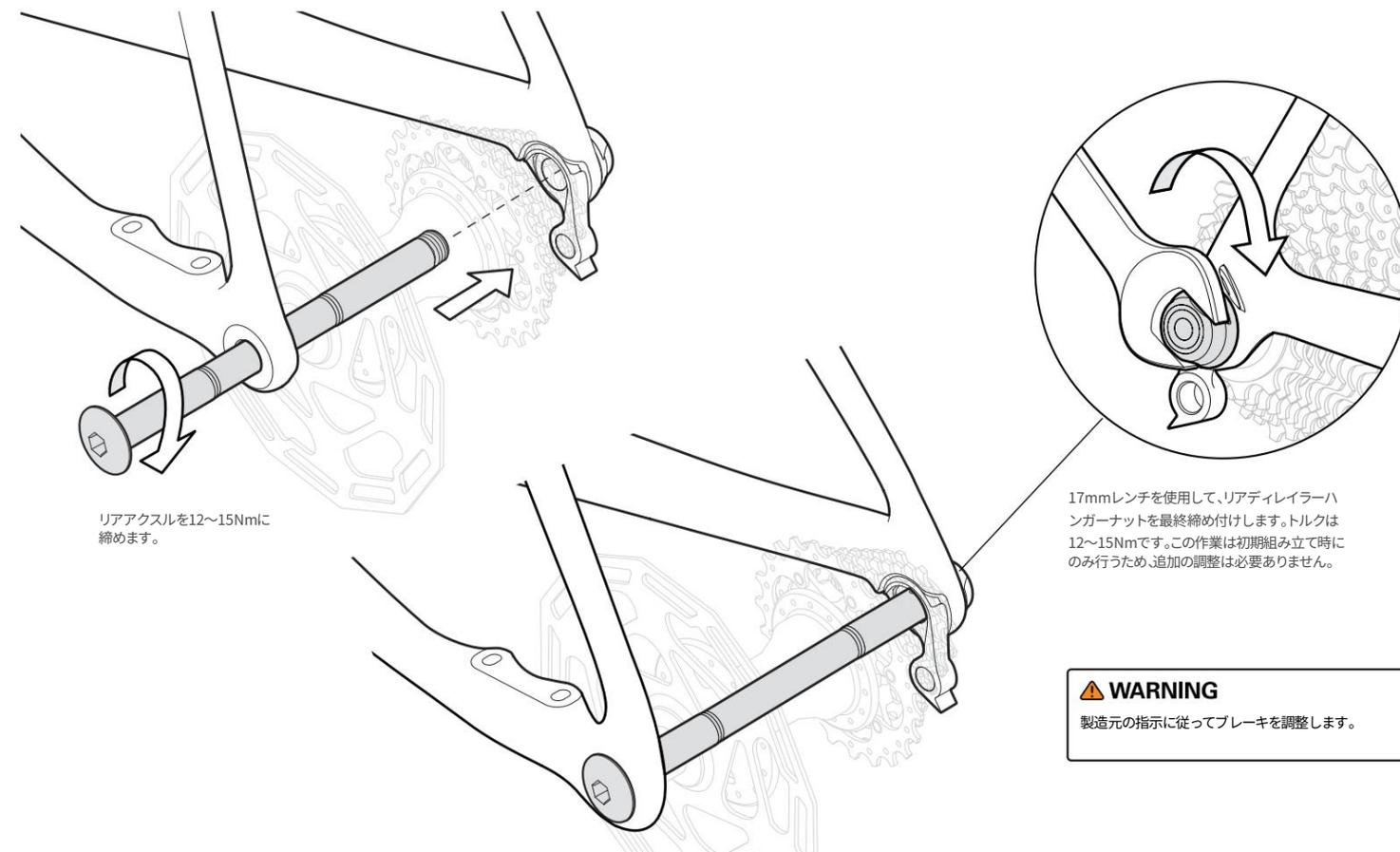
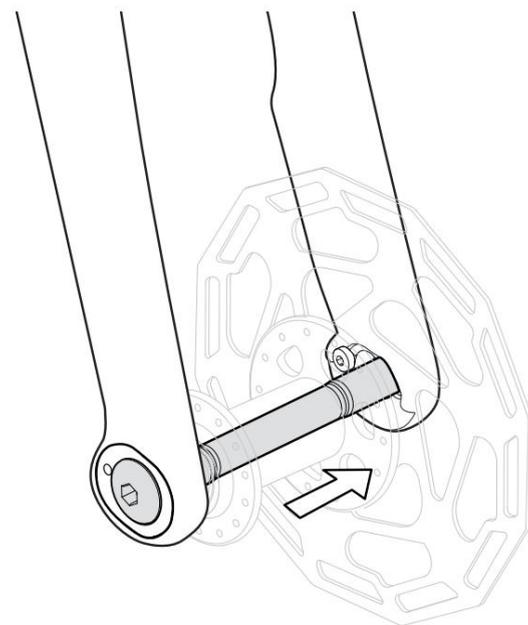
製造元の指示に従ってブレーキを調整します。

エアロスルーアクスルの取り付け



フロントアクスルを12~15Nmに締めます。

ホイールを固定するには、グリースを塗布した車軸をドロップアウトとホイールハブに通し、車軸のねじ山側をねじ込み式インサートのねじ山部分に合わせます。位置が合っかみ合ったら、車軸をインサートのねじ山部分に時計回りにねじ込み、しっかりと固定します。



リアアクスルを12~15Nmに締めます。

17mmレンチを使用して、リアディレイラーハンガーナットを最終締め付けします。トルクは12~15Nmです。この作業は初期組み立て時のみ行うため、追加の調整は必要ありません。

⚠ WARNING

ライダーの安全を確保するためには、Cervélo Aero Thru-Axleを正しく取り付けることが不可欠です。正しく取り付けないと、ライダーが重傷を負う可能性のある事故につながる可能性があります。

⚠ WARNING

製造元の指示に従ってブレーキを調整します。

ROUGH-5 & ROUGH リテーラー アセンブリ マニュアル

www.cervelo.com

CER-ASA-V2 2020-10-30

cervelo